

医薬事業戦略

2020年5月20日

常務取締役 医薬事業部長

西田 健一



本日の発表内容

1

医薬事業実績報告

2

生産体制の取り組み

- ①ニプログループ生産品目毎の数量推移
- ②注射剤工場の増産体制強化
- ③経口剤工場の増産体制強化

本日の発表内容

1

医薬事業実績報告

2

生産体制の取り組み

- ①ニプログループ生産品目毎の数量推移
- ②注射剤工場の増産体制強化
- ②経口剤工場の増産体制強化

医薬事業各部門 売上高

売上高

単位：百万円

	2019年度 売上高		
	実績	対前年	対期初予想
ニプロ医薬事業部 +ニプロファーマG	58,603	111.7%	97.6%
全星薬品工業	11,754	106.5%	100.2%
合計	70,357	110.8%	98.0%

医薬事業各部門 営業利益

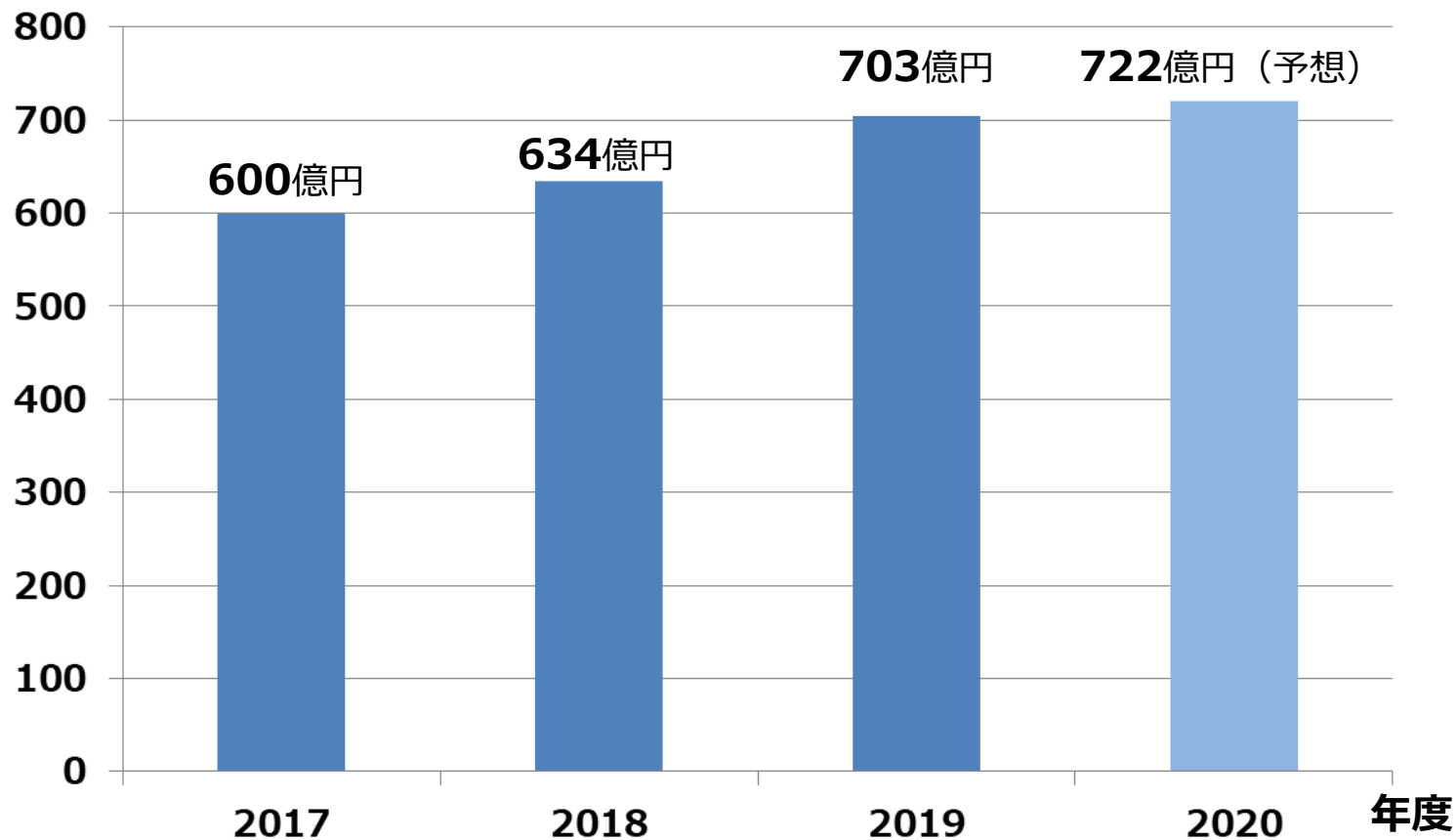
営業利益

単位：百万円

	2019年度 営業利益		
	実績	対前年	対期初予想
ニプロ医薬事業部	4,203	102.4%	94.5%
ニプロファーマG	6,710	133.3%	157.5%
全星薬品工業	2,283	149.9%	230.6%
合計	13,196	123.8%	136.0%

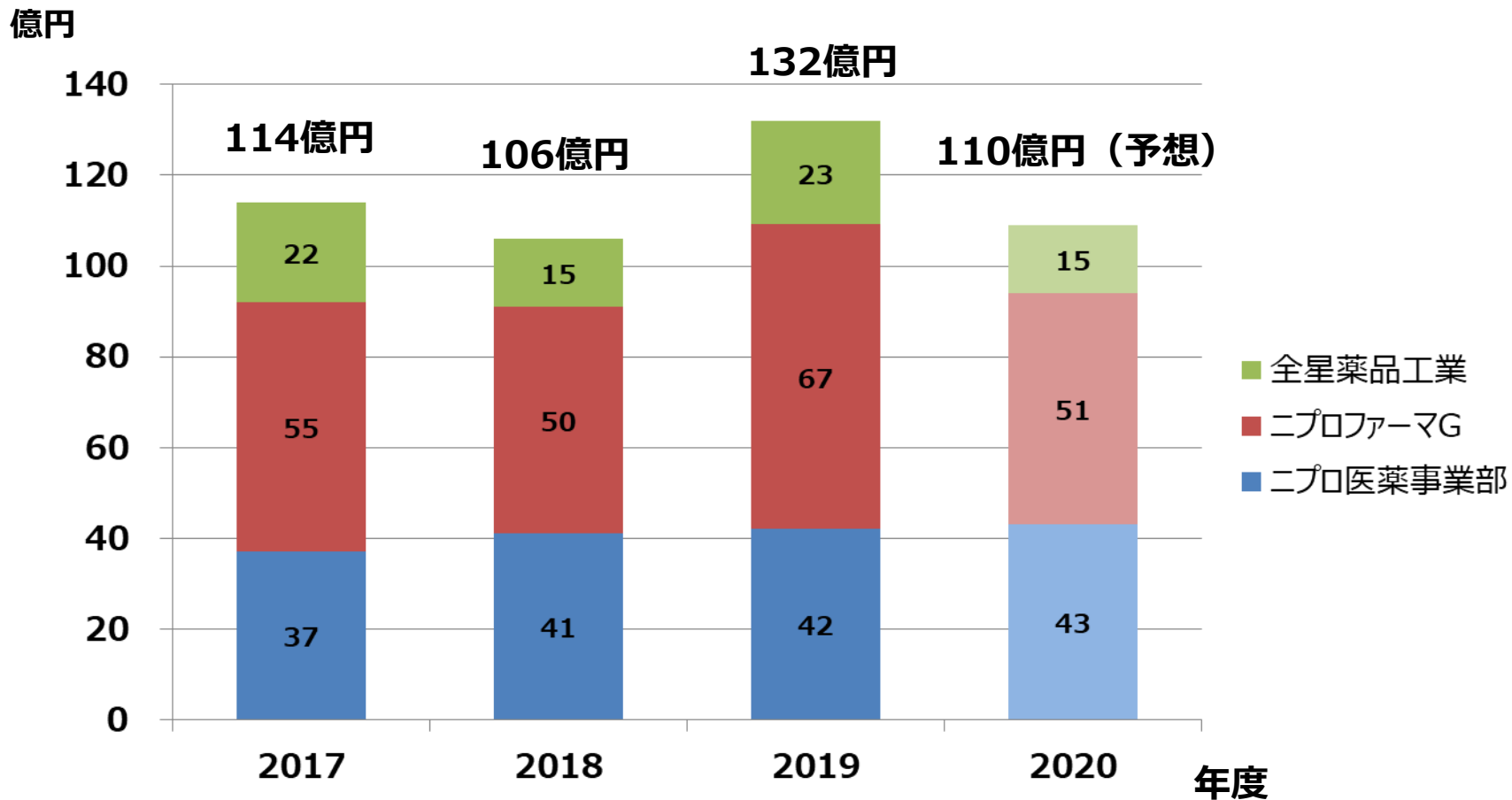
医薬事業部門 売上高推移

売上高推移



医薬事業各部門 営業利益推移

営業利益推移



本日の発表内容

1

医薬事業実績報告

2

生産体制の取り組み

- ①ニプログループ生産品目毎の数量推移
- ②注射剤工場の増産体制強化
- ②経口剤工場の増産体制強化

ニプログループ生産品目毎の 数量推移

ニプログループ生産品目毎の数量推移

剤形	2019年度数量 /2018年度数量	2020年度見込数量 /2019年度数量
アンプル	121%	120%
バイアル	112%	124%
バッグ（輸液除く）	102%	113%
シリンジ	113%	112%
錠剤・カプセル	117%	100%
細粒・顆粒・散剤・DS	157%	113%

注射剤工場の増産体制強化

ニプロファーマ 伊勢工場



小容量バイアルライン

2020年
3月

4月

2021年
4月



PV生産開始

凍結乾燥機
導入工事開始

凍結乾燥機
稼働予定

生産能力

液のみ：2,900万本/年

液：400本/min(最大) φ16・φ22・φ24・φ30

凍乾のみ：230万本/年

凍乾：250本/min(最大) φ16・φ18・φ22・φ24・φ30

※凍乾：4日/ロットとして

φ16サイズ稼働率80%とした場合



高速プレフィルドシリンジライン 新設

ライン①

- ・容量：1~3mL
- ・部材：PP
- ※COP、ガラス将来対応
- ・滅菌：無菌充填
- ・生産速度：300本/min
- ・生産能力：5,900万本/年

ライン②

- ・容量：5mL、10mL
- ・部材：PP
- ※成形～充填一連工程
- ・滅菌：充填後滅菌
- ・生産速度：250本/min
- ・生産能力：5,500万本/年

新棟建築箇所

2020年02月



建築着工

2021年06月
(▲3ヶ月)



設備搬入

2023年02月



生産開始



ニプロファーマ 大館工場



シリンジライン増設

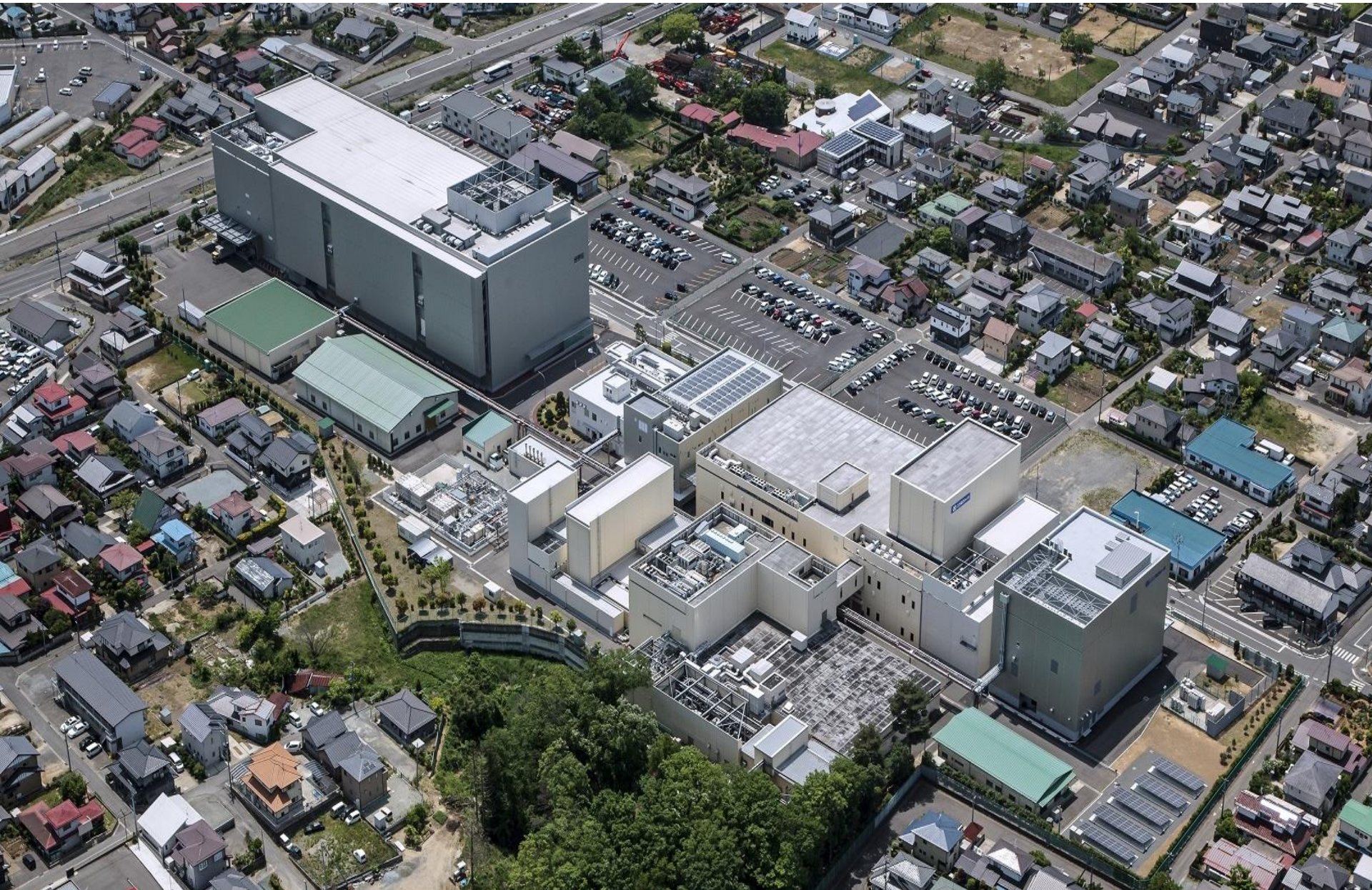
プレフィルドシリンジ20mLのライン増設を行い、
高稼働ラインの分散化にて安定供給体制強化を図る。



大館工場 20mLラインイメージ写真（包装工程）

経口剤工場の増産体制強化

ニプロファーマ 鏡石工場



新造粒棟立ち上げ

新造粒棟 全景

200kg造粒プロセスの新設を行い、
増産体制強化とコストダウンを図る。

2020年6月
稼働開始予定（品目試製スタート）

ニプロファーマ 埼玉工場



ニプロファーマ 埼玉工場

新たな経口剤の基幹工場として14億錠の生産能力を実装完備する。



2020年5月
稼働開始
(品目試製スタート)



左写真の流動層造粒機
においては70t/年（約4億錠）
の造粒を製造予定。



全星薬品工業 岸和田工場



新棟建設計画

受託体制の強化（処方設計～治験薬製造～商業生産）

- ✓ 生産機能の拡張（特に治験薬）
- ✓ QC試験能力の拡大
- ✓ BCP対応



2022年4月竣工で計画中



ご清聴ありがとうございました